

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第617号（平成28年3月9日発行）

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません

■《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 第6回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会開催について（ご案内）
2. 汚染土壌事業化PT（全体会議）の開催について

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 交通政策審議会第62回港湾分科会を開催
2. 港湾の中長期政策策定へ検討開始
3. 中津港でカルシア改質土を用いた潜堤試験工事

――――
《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 第6回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会開催について（ご案内）

環境省にて大規模災害の発生に備え、廃棄物処理システムの強靱化に関する総合的な対策の検討を進めるため、「第6回大規模災害発生時における災害廃棄物対策検討会」を開催することとなりましたのでお知らせします。詳細は下記のとおりです。

★参加ご希望の方は、3/10（木）までに、事務局まで
傍聴者氏名、所属、連絡先をお知らせ下さい。

記

- ・日時：平成28年3月18日（金） 10：00～12：00
- ・場所：TKP東京駅大手町カンファレンスセンター ホール22G
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI 大手町ビル 22F
電話：03-4577-9265

<http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-otemachi/access/>

・議事内容（案）：

- （1）大規模災害発生時を見据えた災害廃棄物対策の今後のあり方について
 - （2）各ワーキンググループの検討成果について
- ①技術・システム検討
 - ②要処理量
 - ③人材育成
 - ④地域間協調
- （3）報告
- ①地域ブロック協議会における検討状況について
 - ②自治体における災害廃棄物対策の取組状況について
 - ③国際協力をテーマにしたG7アライアンスワークショップについて

以 上

2. 汚染土壌事業化PT（全体会議）の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

記

日 時：平成 28 年 3 月 17 日（木）13:30～15:00

場 所：（一財）みなと総研 3 階 会議室

【事務局】

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 交通政策審議会第 62 回港湾分科会を開催

国土交通省港湾局は 2 月 29 日、「交通政策審議会第 62 回港湾分科会（分科会長・小林潔司 京都大学大学院教授）」を開催した。博多港と細島港の港湾計画改訂、両津港、小木港、横浜港、伏木富山港、佐世保港の一部変更について審議し、いずれも適当であると答申した。

博多港の改訂計画はクルーズ船の大型化・寄港増加への対応として、中央ふ頭地区に水深 12m 岸壁延長 450m、水深 10m 岸壁延長 370m、水深 9m 岸壁延長 340m 等を新たに位置付けた。また細島港の改訂計画では工業港地区に大型バルク船受入への対応及び企業立地のため、32ha（工業用地 25ha と埠頭用地 7ha）を造成し、水深 15m 岸壁延長 300m を整備する計画。

このほか一部変更として、両津港では、夷地区の水深 7.5m 岸壁延長 188m を耐震強化岸壁として位置付けたほか、横浜港では大黒ふ頭地区の水深 11m 岸壁延長 290m を水深 12m 化し、自動車専用船の大型化に対応する。伏木富山港では伏木地区の危険物取扱施設用地に関する土地利用計画等を変更、佐世保港では専用埠頭計画・土地利用計画の変更等を行った。

【港湾空港タイムス】

.....

2. 港湾の中長期政策策定へ検討開始

国土交通省港湾局は、平成 29 年度末までに 2030 年を目標とした港湾の中長期政策（PORT 2030 プログラム）を策定する。今年 4 月に同政策について検討する港湾分科会を開催する予定で、28 年度は我が国港湾を取り巻く現状の課題整理や検討の方向性、また当面の取組みについて議論を進める。

経済・物流のグローバル化や地域経済の活性化、災害リスクの高まり、新技術の活用など多様な情勢変化へ対応するため、中長期的な視点に立ち、我が国港湾のあるべき姿、実施すべき取組み等を取りまとめる。

【港湾空港タイムス】

.....

3. 中津港でカルシア改質土を用いた潜堤試験工事

九州地方整備局別府港湾・空港整備事務所は浚渫土砂の有効活用の一環として、中津港（田尻地区）において製鋼スラグと浚渫土で製造したカルシア改質土を用いて、潜堤の試験

工事を 28 年度実施する。潜堤築造試験工事では環境への影響などをモニタリングし、関係者と協議を行って潜堤を延長していく考え。

カルシア改質土は、製鋼の過程で発生するスラグを粒度調整したカルシア系改質材を一定の割合で浚渫土と混合することで、浚渫土に含まれるシリカやアルミナが反応し強度が向上する。また製鋼スラグは浚渫土と混合することで含まれる PH が溶出せず、リンや硫化水素発生も抑制されるなど水域環境にも適していることなどが判っている。

中津港で 28 年度試験施工する潜堤の規模は幅 55m、長さ（潜堤の法線方向）25m の規模で、水深約 6m。周囲を雑石や人工石で囲み、中にカルシア改質土を入れて、上部を覆砂する。将来的には航路に沿って延長 160m を検討している。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

木村 竜也 東京都

梅木 重光 （株）酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱（株）

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

※メルマガ配信先に変更がある場合は事務局までご連絡下さい。

#####